

愛知医科大学病院

病院長名	天野 哲也
所在地	〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
交通案内	地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分 東名高速名古屋ICから車で約15分

□ 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。特定機能病院や高度救命救急センターなどに指定され、充実した設備と最新の診療体制を整え、尾張東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。

「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに、高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し、数多くの最新医療機器を導入し、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

□ 研修プログラムの特徴

愛知医科大学眼科の研修プログラムには大きく4つの特徴があります。

1つ目は大学病院ならではの先進的、専門的医療を学べることです。当院は日本有数の網膜硝子体と緑内障専門医が多数在籍しており、それらの症例数は全国的にも多いです。またそれらの分野の臨床研究にも尽力しており、希望があれば臨床と平行して研究を行うことも可能です。

2つ目は網膜硝子体・緑内障以外の疾患に関しても（特に角膜疾患、ぶどう膜炎などの炎症性疾患、未熟児網膜症など）、連携施設からエキスパートの先生が毎月指導にきてくださっているため、当院で診断・治療ができない疾患はほとんどありません。さらにそのような連携施設への研修希望にも柔軟に対応しており、興味を持った分野の研修をその分野のエキスパートが在籍する施設で行うこともできます。

3つ目は地域柄、集まる症例が幅広く、かつ症例数も多いため、眼科医としてのスタートをきる場所として申し分ない施設であることです。その上、名古屋市内まで車で30分ほどという立地ですので、楽しい研修生活が送れると思います。

4つ目は手術を含めた手技に関する教育にもとても力を入れておりますので、アシスタントで1年おわるといったことは絶対にありません。

若い医局員も多く和気あいあいと切磋琢磨しながら、楽しくをモットーに仕事をしています。是非一度、見学にお越しください。



▲手術の現場（教授執刀のHeads up surgery）



□ 主な連携施設

大阪大学医学部附属病院
兵庫医科大学病院
京都府立医科大学附属病院
滋賀医科大学医学部附属病院
東京医療センター
大阪医療センター、JCHO 大阪病院、大阪けいさつ病院
上飯田第一病院、大雄会第一病院
中津川市民病院、長寿医療研究センター

□ メッセージ

指導医（教授 瓶井 資弘）

愛知医科大学眼科は日本最高水準の網膜硝子体疾患・緑内障の治療施設を目指しております。サージカルに関しては、国際トップレベルの網膜硝子体手術を行っており、全国に先駆けて3Dシステムを使用した手術を行うなど先鋭的な治療を行っております。加齢黄斑変性を中心としたメディカル分野に関しては、日本有数の専門医師を中心に、ロービジョンの視覚リハビリテーションにも力を入れています。緑内障に関しても同様に日本屈指の専門医が在籍しており緑内障手術の中でも最新技術である低侵襲緑内障手術にも力をいれています。網膜疾患以外の眼科専門診療の習熟に関しては、角膜疾患、ぶどう膜炎、神経眼科、斜視弱視、未熟児網膜症の日本で有数のエキスパートの医師を毎月定期的に招聘しており、各分野の疾患の基本的知識や考え方、最新知見を学ぶことができます。また、手術教育に力を入れており、1年目より白内障手術を執刀できるように指導しています。皆さんが満足できる研修プログラムを組んで、次世代を担う眼科医と一緒に働くことを楽しみにしています。



□ 募集要項

・採用予定人数	4人
・給与／月額	月額:436,644円(免許取得後3年目医師の平均、R6年度実績より算出、別途賞与支給あり) ※勤務状況により実際の支給とは異なる場合があります。
・当直回数／月	1～2回
・当直料／回	(救急外来)宿直手当 約39,000円(病棟)宿直手当 20,000円
・その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与(年2回)、社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金))、健康診断 ※診療科から外勤の輪旋があります。
・応募連絡先	担当者 山雄 さやか 電話番号 0561-62-3311(内線22181) Eメール gankaamu@aichi-med-u.ac.jp